

目 次

**「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、
該当ページまで移動します。**

<u>出席委員</u>	2
<u>討論及び採決</u>	4
<u>特別委員会報告書の作成について</u>	11

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場
合があります。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月13日月曜日分）

平成29年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第5号）

平成29年3月13日（月曜日）

出席委員（17名）

委員長	吉岡伸二郎君	
副委員長	後藤哲君	
委員	鈴木晴子君	西澤文久君
	小淵洋一郎君	安田知己君
	木村範雄君	土村秀俊君
	高久時男君	鈴木忠美君
	吉田裕哉君	永野涉君
	及川智善君	遠藤紀子君
	渡辺幹雄君	郷右近隆夫君
	羽川喜富君	

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

町長	鈴木勝雄君
副町長	伊藤三男君
総務課長	折笠浩幸君
政策課長	小幡純一君
財務課長	高橋三喜夫君
税務課長	高橋徳光君
収納対策室長	櫻井浩明君
町民課長	庄司幾子君
生活安全課長	村田政文君
保健福祉課長	菅井百合子君

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月13日月曜日分）

子ども支援課長	櫻井 やえ子	君
都市整備課長	櫻井 昭彦	君
産業振興課長 兼農業委員会事務局長	伊藤 智	君
上下水道課長	大友 政一	君
震災復興推進室長	阿部 義弘	君
会計管理者 兼会計室長	阿部 智子	君
教育長	本 明陽一	君
教育次長	松尾 隆治	君
教育総務課長	菅野 勇	君
生涯学習課長 兼図書振興班長 兼図書館長	庄子 敦	君
代表監査委員	宮城 正義	君
監査委員事務局長兼 選挙管理委員会事務局長	鈴木 正敏	君

事務局職員出席者

事務局長	鈴木 則昭	君
主幹	櫻井 渉	君
主任主査	利 玲子	君
主事	八 向 歩	君

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月13日月曜日分）

午前9時31分 開 議

○委員長（吉岡伸二郎君） おはようございます。

これより予算審査特別委員会を再開します。

ただいまの出席委員は17名です。

これより議事に入ります。

本特別委員会に付託された平成29年度利府町各種会計予算については、3月6日から4日間にわたり、各課長等から所管事項の説明を受けて慎重に審査してまいりました。

したがって、質疑を省略し、案件ごとに**討論及び採決**を行いますので、御了承願います。

初めに、議案第17号平成29年度利府町一般会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。最初に反対討論。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 それでは、議案第17号平成29年度利府町一般会計予算に反対の立場で討論いたします。

これにつきましては、1年前、2年前と同様、文化複合施設整備事業が含まれておりますので、その1点をもって反対とするものでございます。

この文化複合施設整備事業につきましては、いまだ多くの町民の理解と賛同を得られていない事業であること、当初計画のままであり、過大な内容のまま進めていること、また住民説明会を開催したいと述べつつ開催してこず、また今後も開催に否定的であること、総額50億円を超える事業であり、今後の町財政の深刻な悪化が懸念されること、また昨年度申し上げましたが、町民へのアンケートでも、文化芸術に関する環境整備は、今後特に重要と思う項目の中で最下位であったこと、直近の民意と言える町議会選挙でも整備促進を訴えた候補はいなかったことなどの理由から、新年度にこの事業を進めるべきではないと判断しております。

さらに、またなお今回の予算審査において、今後の1期計画、約36億円のうち国の補助が見込めるのは2割程度であることが示され、将来世代へ多くのツケを先送りせざるを得ないということが判明したこと、また最後に利府町公共施設等総合管理計画案で示されたとおり、今後毎年16億円以上の財源不足となり、これまでの建物や道路の維持するままならないという将来の町の状況において、新たな箱物建設を進めることは、政治判断として誤りであると考えております。

以上の理由により、この文化複合施設整備事業は廃止、棚上げすべきものであり、この事業にかかわる予算は認められないため、今回のこの新年度予算に反対といたします。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、賛成討論。17番羽川委員。

○羽川喜富委員 おはようございます。

それでは、議案第17号平成29年度利府町一般会計予算に対し、賛成の立場で討論いたします。

初めに、東日本大震災の発生から6年が経過し、犠牲になられた方々の御冥福を祈るとともに、被災地の復旧・復興事業が進み、被災者の皆様が早急にもとどおりの生活を取り戻せるよう願うものであります。

さて、本町における復興事業についてであります。浜田・須賀地区での各種復興事業に着手し、浜田地区の避難路の供用開始や避難場所の完成など、本町の復興事業も着実に歩みを進めていることを実感しているところであります。町当局としましては、今後も復興計画の推進に柔軟に対応しつつ、各種工事の発注や施工管理を適切に施行するとともに、復興事業が完成するまでの十分な財源の確保に努め、1日も早い復興を成し遂げられることを強く要望するものであります。

現在の経済状況につきましては、国、内閣府の発表によりますと、景気は一部に改善のおくれも見られるが、緩やかな回復基調が続いているとされておりますが、少子高齢化に伴う人口減少社会への対応など、中長期的な課題を抱え、国、地方とも財源政策は極めて厳しい状況にあると考えております。

平成29年度予算編成においてこのような状況下でも、町当局におかれましては、予算総額134億4,000万円と、前年度と比較し復興事業の進捗により減となったものの、利府町震災復興計画に基づき復興事業に全力を挙げて取り組むこととされており、さらに利府町総合計画の実現のため、今後の町の将来を見据えた諸施策の展開に重点的に予算が配分されております。

具体的な内容につきましては、施策方針からその内容を検証したいと思います。

まず、第1に、復興創生、そして次の50年についてであります。復興事業については、須賀地区における排水対策事業や防災備蓄倉庫整備事業、浜田地区の防潮堤整備事業、須賀地区の水門整備事業より一層加速させ、地域の住民の皆さんが安全で安心して暮らすことのできるよう、1日も早い復興を切望するものであります。

また、地方創生については、近い将来に到来することが見込まれる人口減少、少子高齢化時代への対策として、利府町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、宮城大学を初めとした産学官の連携によるまちづくりや、町民の皆様がまちづくりへと参画できる環境整備の推進に

より、郷土意識を高めることでのパートナーシップの構築など、町への愛着・帰属意識を高める取り組みとして大いに期待するものであります。

次に、多様なニーズに対応する子育て、福祉、教育環境の充実についてであります。本町は、これまでも第3子以降の保育料の無料化や子ども医療費助成、さらには小中学校入学時の支援事業など、子育て支援の町を目指し、子育てしやすい環境整備に取り組み、子育て世代の転入増につながっております。

一方で、本町における高齢化率は増加しており、社会福祉に対するニーズも年々高まりを見せております。平成29年4月に開園する90人定員の民設民営による認可保育園、アスク利府保育園の開園により待機児童の解消や、さらに産休明け保育事業など、多様な保育ニーズへの対応が図られています。

学校施設整備関係では、平成30年度の完成を目指し整備を進めている利府小学校校舎建てかえ工事や、不登校対策として実施する心のケアハウス事業などにより、ハード・ソフト両面で子育て環境整備の充実が図られ、県内トップクラスの子育てしやすい町のさらなる推進が期待できます。

また、介護保険制度の改正による新しい介護予防・日常生活支援総合事業の開始や、高齢者福祉計画に基づく各種事業の推進により、本町に住む、より多くの高齢者が可能な限り住みながら地域で暮らしていけるよう、地域の実情に応じたまちづくりの構築に寄与するものと思われれます。

次に、快適で利便性の高い住環境の整備についてであります。平成29年2月に市街化区域に編入された白石沢地区につきまして、新たな産業拠点としてだけではなく、雇用創出など地域経済の活性化につながるものであり、大いに期待するものであります。また、地域活性化と郷土の均衡ある発展を図り、土地利用を計画的に推進するため、受け皿として市街化区域の編入手続に伴う予算が盛り込まれたことや、土地区画整理事業への支援、地区計画制度の導入などの適切な土地利用の誘導により、良好な市街地の形成が図られるものであります。

さらに、文化複合施設整備事業については、実施設計を策定しているところであり、平成29年度から用地買収や造成工事などの本格的に事業を着手していくこととなりますが、平成32年度の開館に向け、利用しやすい、利用したくなる施設整備を期待するところであります。

町営墓地整備事業については、当初の見込みを上回り、現在不足が生じているところから、早急に増設の計画を進めることを要望いたします。

次に、行政改革の推進と健全な財政運営についてであります。本町はこれまでもさまざまな行政改革に積極的に取り組んできておりますが、平成28年度に策定した第5次行政改革大綱により、職員一人一人の意識改革を促進し、行政改革アクションプランにおいて着実に進行管理を行い、効率的に行政改革を推進し、前例にとらわれない創意工夫と柔軟な発想により、より一層の住民サービスの向上が図られるものと期待できます。

また、自主財源の確保に向けたふるさと寄附金制度の見直しや、受益者負担の適正化に向けた使用料や手数料の見直しに係る検討など、財政の健全化に寄与するものであります。

以上、平成29年度予算の強化すべき施策の代表的なものを申し上げましたが、平成29年度は昭和42年に町制を施行してから50周年を迎える節目の年であります。次の50年への飛躍のためにも、総合計画の基本理念に挙げる「ひと・こころ・まち しあわせ共創のステージ」の実現に向け、都市と自然が調和したまちづくりによって文化を育み、産業の発展等、多くの人々が安心して安住できる活力あるまちづくりに取り組むための積極かつ柔軟な予算となっていることを評価するものであります。さらに、引き続き自主財源の確保と税負担の公平性のもと、さらなる政策実現を推進することを期待し、賛成といたします。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第17号平成29年度利府町一般会計予算を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第18号平成29年度利府町国民健康保険特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。最初に反対討論。5番安田委員。

○安田知己委員 議案第18号平成29年度利府町国民健康保険特別会計予算に討論を行います。

今回の国保会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ35億6,815万7,000円です。保険給付費の伸

びなどで、前年度比7.3%増の予算となっております。この国保会計が行っている医療保険事業は、国民皆保険制度を大もとで支える医療保険制度として、町民の健康の保持と福祉の増進に大きく寄与している重大な事業であることは認めるものです。

この会計については、これまでも予算・決算の討論で何度も述べてきていますが、町の国保財政が年々厳しくなっている最大の要因としては、国が地方自治体の国保会計に対して大幅な予算削減を行ってきたことにあります。町として、この国の政治に対して、以前の補助率に少しでも戻すよう、あらゆる機会においてしっかりと声を上げていくことが必要かと思えます。町の国保の状況を見ると、この間数度にわたる国保税の引き下げがありましたが、国保に加入している町民からは、依然として国保税の支払いが大変だという声が少なくありません。さらに言えば、国保税は何とか支払うことができても、診療時の自己負担を考えて受診を控えてしまうというケースも考えられます。この対策として国保法第44条を町民が積極的に活用できるよう、町としても支援を強める必要もあると思えます。

国保制度はほかの医療制度と違い、収入の少ない加入者が多いのも特徴です。こういう実態を踏まえ、町として国保加入者が無理なく支払うことができる国保税体系の検討が必要だと思えます。あわせて、平成27年度決算では、短期保険証が121世帯、資格証明書が4世帯に発行されています。町民の医療を受ける権利を妨げる可能性のあるこれらの発行には慎重な対応をすべきであります。無理なく支払うことができる国保税、短期保険証や資格証明書の発行、この2つの問題点を指摘して、国保会計予算に対する反対討論とします。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、賛成討論。1番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 それでは、議案第18号平成29年度利府町国民健康保険特別会計歳入歳出予算に対しまして、賛成の立場で討論いたします。

国民健康保険は、我が国の国民皆保険制度の中核として、地域住民の持続可能な医療保険制度を構築し、国民健康保険の安定的運営に向け、平成30年度から都道府県と市町村が共同で国保の運営を行うことが決まっており、国民健康保険制度の持つ年齢構成、医療費水準の高さなどの構造的な問題に対応し、財政の基盤強化を図るとともに、事務の効率化・広域化を図ることを目指す改革が進められております。

さて、利府町国民健康保険特別会計29年度の予算につきましては、歳入歳出ともに前年度より7.3%、2億4,148万4,000円増の35億6,815万7,000円となっております。歳入総額に占める保

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月13日月曜日分）

険税の収入割合は17.8%の6億3,492万6,000円であり、現年度の徴収率は91%、過年度の徴収率は20%で、昨年度に比し2.1%の増となっております。医療費の高騰に伴い、補助金と交付金が伸びている中、税収は微増の状況となっております。

歳出においては、保険給付費が21億8,689万3,000円で全体の61%を占め、前年度19億8,582万2,000円よりも2億107万1,000円、10.1%の増と大きな上がり幅を見せております。このことに対応し、平成29年度は、保険事務費、疾病予防費において53%増の2,558万4,000円を計上し、疾病予防・重症化予防のための施策の充実を図り、医療費の削減とともに被保険者の健康寿命の延伸を図る取り組みは高く評価できるものであります。

また、30年度の制度改正に向け、共同保険者となる宮城県とのシステム連携、社会保障税番号制度に対応してのシステム改修、国保事業制度改正に伴うマネジメント業務などの予算を確保し、安定的、効率的な国民健康保険運営に向け、着々と準備を進めていることも評価に値します。

今後も、国民健康保険事業として医療費の適正化を図り、町民負担の公平性を保ちながら、町民の健康保全に大きく貢献する事業を推進することを期待し、賛成討論といたします。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第18号平成29年度利府町国民健康保険特別会計予算を採決します。

この採決は起立によって行います。

本件は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 起立多数です。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第19号平成29年度利府町介護保険特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第19号平成29年度利府町介護保険特別会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第20号平成29年度利府町後期高齢者医療特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第20号平成29年度利府町後期高齢者医療特別会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第21号平成29年度利府町下水道特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第21号平成29年度利府町下水道特別会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第22号平成29年度利府町町営墓地特別会計予算について、討論、採決を行います。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第22号平成29年度利府町町営墓地特別会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第23号平成29年度利府町水道事業会計予算について、討論、採決を行います。
討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 討論がありませんので、これで討論を終わります。

これより議案第23号平成29年度利府町水道事業会計予算を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、本委員会に付託された平成29年度利府町各種会計予算の審査は全部終了いたしました。

なお、**委員会報告書の作成**については、私に一任願います。

これで予算審査特別委員会を閉会します。

どうも御苦労さまでした。

午前9時54分 閉 会

上記会議の経過は、事務局長鈴木則昭が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

平成29年3月13日

委員長